海外 Cabin Attendant 実習
海外インターンシップ　報告書

場所：韓国　富川（Bucheon）大学　航空サービス科
　　t’way 航空　訓練施設
　　済州航空　訓練施設

期間：2025 年 8 月 5 日～19 日

国際交流学科（国際社会学科）　2 年

Q：参加した理由について

将来、航空業界で働くことを希望している。この実習が今年から開催されることを知り、現在の自分の語学力や接客スキルについて、実際のシチュエーションにおいてどの程度通用するものなのかを知りたいと思った。
そして、実習で学ぶことにより、自分に足りない点が何であるのかを明確にすることで、今後の学生生活に反映できたら、と考えたため。

Q；事前研修や事前に準備したこと

事前研修では、韓国についての基礎知識を学ぶことができた。大阪女学院大学の学生の方からの現地での生活の資料も提供され、韓国での生活においてどのような状況か、ある程度イメージができた。英語・韓国語についても少しチェックをした。

Q：実習終了後に感じたこと

多文化社会において、語学はコミュニケーションをとるうえで必要なスキルであると再認識した。単語力だけでなく、シチュエーションに応じた表現を学んでおくことは、発言のしやすさにもつながることを感じた。

また、言葉遣い・表情・態度といった所作も、普段の学生生活の中で総合的なコミュニケーション力として身につけておく必要性を感じた。

Q:今後の自身のキャリアプランに与えた変化について

実習前は、華やかなイメージが強かった。実習後においては、サービスと安全の両立の難しさと重さを強く感じるようになった。同時に航空業界で働くことに対しての気持ちが増した。

以上